

会社名 ピープル株式会社

上場取引所 東 スタンダード

コード番号 7865

(https://www.people-kk.co.jp/)

代表者 取締役兼代表執行役 桐渕真人

問い合わせ先: IRチーム 小岩朋紀

TEL:03-3862-2768

## ◆売上高(単月) 前年対比

(金額単位:千円)

11月度(単月)	前期:2025年1月期	当期:2026年1月期	前年同月比
乳児・知育・構成玩具カテゴリー	218,878	202,648	92.6%
メイキングトイカテゴリー(注1)	6,146	2,697	43.9%
その他(遊具・乗り物・育児等)	12,702	3,663	28.8%
海外販売・ロイヤリティ収入	20,099	10,826	53.9%
合計	257,826	219,834	85.3%

2～11月度(累積)	前期:2025年1月期	当期:2026年1月期	前年同期間比
乳児・知育・構成玩具カテゴリー	1,156,803	1,078,505	93.2%
メイキングトイカテゴリー	31,070	7,210	23.2%
その他(遊具・乗り物・育児等)	120,766	36,932	30.6%
海外販売・ロイヤリティ収入	193,525	145,136	75.0%
合計	1,502,163	1,267,783	84.4%

(注1)ドリーミーDIYトイ「ねじハビ」シリーズは2026年1月期に製造終了いたしました。

※一部商品の製造終了に伴い、商品カテゴリーの区分を見直す予定です。新たな区分は次期2027年1月期より適用いたします。

## ◆11月度発売新商品・リニューアル商品

商品カテゴリー名	商品名	標準小売価格(税込)
その他	「さわるTECH(テック)」	アーリーアクセスコース(限定予約) ※完売 本発売に向けて準備中

11月に入り、クリスマスギフト需要の高まりと共に、高価格帯玩具の市場が本格化。カタログ通販やEC通販を中心に、高単価商品への受容が回復傾向にあります。この流れを受け、ピタゴラスシリーズの「ボールコースター」は引き続き好調です。当期7月発売の「LARGE(ラージ)」(22,000円)は年末の最重要期に向けてSNSでの大型作品例の紹介など、「LARGE」ならではの世界観を伝えるコンテンツを積極投入し、新規ユーザー獲得の施策を強化いたします。

また、当社代表の桐渕真人がABCラジオ「経営者たちのラジオ」に出演いたします。番組では、代表独自の経営哲学やパーパスへの熱い思い、家族とのプライベートまで深くトークを展開しています。事業にかける熱意とその背景にある考え方を知っていただける貴重な機会です。ぜひご聴取ください。

## ●直近のPR/IR情報

## 「ピタゴラスLARGE(ラージ)」

ABCラジオ ※radikoでも聴けます  
FM93.3/AM1008

## 「経営者たちのラジオ」

放送予定日時

12月21日(日)・12月28日(日)

24:30～25:00

■ピープルIR公式 X(旧Twitter)を開設しました。▶[https://x.com/People7865\\_IR](https://x.com/People7865_IR)■note連載「IあるIR ピープルIR担当の試行錯誤」▶[https://note.com/people\\_pr/m/m48d1b60a398c](https://note.com/people_pr/m/m48d1b60a398c)

IR note連載「IあるIR」第2回を公開しました。テーマは“減収減益は種まき期”。



昨年および昨年度、事業終了など抜本的な改革により収益改善を図りました。事業終了により確保したリソースを新事業開発チームに最も多く割り当てつつ、新事業をスムーズに、スピーディに創出する新たな仕組みづくりを、中期的な視点に立ち実施しています。直近ではパーパスのキーワード「子どもの好奇心」を軸に8つの新事業チームが進行しており、その「好奇心事業」第1弾が2025年春(2026年1月期)に、続いて第2弾を2025年10月24日(2026年1月期)にローンチしました。

一方、このローンチに向けて、当社の取り組みを広く認知していただくことが、商品ブランド育成に重要と考え、広報活動を積極的に行っております。

また、2022年より活動を開始した当社「ピープル赤ちゃん研究所」は当社のコアコンピタンスである「赤ちゃん観察視点」を社内外に伝えることを目的とした活動を展開しており、母親、父親向け「赤ちゃんをあじわうワークショップ」を主活動とし、地方自治体や教育機関とのコラボレーションも実施しております。

これら中期を見据えた施策を行いつつ、短期的な収益性改善策として、以下のような活動を継続的に行っております。

## ①既存ロングセラー商品のリブランディングによる、販売数の底上げ

・シリーズ内の新商品の発売キャンペーン

・周年イベントの開催(2026年1月期:やりたい放題40周年、ピタゴラス33周年、お米のおもちや15周年)

## ②PR、IR活動にリソースを割き、情報発信力を強化

(ご参考)業績予想(2025年12月1日公表)

2026年1月期通期(2025年1月21日～2026年1月20日)業績予想

	2026年1月期通期 業績予想 (百万円)	前期比(%)
売上高	1,630	85.1
営業利益	△189	—
経常利益	△189	—
当期純利益	△4	—